

インシデントレポート報告数

算式

1年間の報告件数

対象

院内で報告されたインシデントレポート全件数

考察

インシデントレポートの目的は、その事例を検証し、医療事故、医療過誤の発生や再発を未然に防止することである。報告の件数は、組織的な安全文化の醸成が進み、安全への取り組みや配慮が行われていることを表しているため、より高値が望ましい指標である。「インシデントレポート総数が病床数の5倍」というのが透明性が高いと言える組織の目安と言われている。当院の2021年度～2023年度の病床数（853床）から考えると、当院の報告数は病床数の7～8倍と積極的に報告されている。徐々に報告件数も増加傾向であることから、組織的な安全文化の醸成が示唆される結果である。

計画

インシデントレポート件数は、組織的な安全文化醸成の指標となる。

今後も、当院の安全文化醸成のひとつの指標としてインシデントレポート報告数をモニタリングし、より効果的な安全文化醸成への取り組みに繋げる。

（当院の目標件数：8000件）

